

発議第4号

子ども医療費助成制度の拡充を求める要望書の提出について

上記の議案を別紙のとおり岩出市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成26年12月2日提出

提出者 岩出市議会議員 山本重信

提出者 岩出市議会議員 田畑昭二

提出者 岩出市議会議員 吉本勸曜

提出者 岩出市議会議員 福山晴美

(提出先) 岩出市長

## 子ども医療費助成制度の拡充を求める要望書

近年、人口減少と少子化問題については、早急な対策が必要とされ、女性が安心して出産や子育てと仕事を両立できる社会の実現や安心感と納得感が得られる子育て支援施策の充実が求められています。

市は、これまで、子どもの医療費助成など個人給付的なものは統一された制度の中で、全国すべての子ども、子育て家庭に平等に提供されるべきとの認識のもと、県、近畿、全国市長会の重点要望として国に働きかけていると繰り返し述べられています。

当市議会においても、子ども医療費の自治体間格差を早急に解消し、安心して子育てするためにも、国の制度として実施されるべきであるとして平成25年12月17日付けで、「国による子ども医療費助成制度の創設を求める意見書」を政府、国会に提出しているところであります。

一方、国民生活に目を移すと、平成26年4月からの消費税引き上げ以降、景気の向上は実感できるようなものではなく、実質賃金は伸び悩み、消費は下げ止まる見通しもなく依然として低迷しており、特に、経済的な負担が多い子育て世代には非常に厳しい状況が続いております。

現在のところ国においては、社会保障と税の一体改革の中で、子ども医療費助成制度の創設に向けた動きは見られず、今後においても、制度化への見通しは明るいとは言えない状況である中、県内の自治体では、制度内容の見直しが図られるなど、地域間での子育て家庭における経済的な負担感の相違が顕著となっています。

よって、本市においても、子ども医療費助成の拡充を行い、子育て世帯の負担軽減を図られるよう強く要望します。